

リコーインダストリー(株)
東北事業所
ソーラーカーポート
導入事例発表



リコーグループは、SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る活動を支援してまいります

2023年9月28日
リコーインダストリー株式会社
人材統括室 人事G

佐々木 宏和

会社概要

リコーのものづくりの中心を担う生産拠点

リコーインダストリーは、2013年4月にリコーの生産機能を集約し操業を開始しました。以降、リコーのものづくりの中心を担い、リコー主要製品の生産を行っています。リコーブランドを支えてきた高品質・高信頼性のキーデバイスの工法開発・設備開発力が土台となり、試作・評価・部品加工から組立まで一貫したものづくり体制でフレキシブルな生産を確立しています。

リコーの技術ノウハウを活かし、海外生産拠点を技術支援

生産活動を通じて得られたものづくりの技術のノウハウをもとに、リコーグループ海外生産拠点への支援、グローバル生産準備プロセスの確立に活かす取り組みを行っています。



2023.4.1現在

社員 計1,307名
人材派遣・請負 計1,440名
従業員合計 計2,747名



R厚木事業所
・所在：神奈川県厚木市
・敷地：86,453m²

✓インクジェットヘッド生産
✓新規・成長事業拠点、生産技術開発



RI勝田事業所
・所在：茨城県ひたちなか市
・敷地：約90,000m²

✓プロダクションプリンター生産
✓プリンタ板金部品生産
✓インクジェットヘッド生産



RI東北事業所
・所在：宮城県柴田郡柴田町
・敷地：153,520m²

✓プロダクションプリンター生産
✓キーパーツ生産
✓トナー生産

製品群	プロダクションプリンター	WFプリンタ	高速複合機	インクジェットヘッド	キーパーツ	サプライ (トナー)
主な拠点	東北・勝田	勝田	東北	勝田・厚木	東北	東北
商品概要						



- 所在地
宮城県柴田町
- 敷地面積
153,520㎡ (内建物面積 : 82,647㎡)
- 沿革
 - 1967年07月 東北リコー(株)設立
 - 1968年04月 電動加算機初出荷
 - 1979年11月 デミング賞受賞
 - 1986年01月 デジタル印刷機生産開始
 - 1991年12月 モノクロ乾式複写機生産開始
 - 1993年03月 ISO9001認証取得
 - 1997年01月 ISO14001認証取得
 - 1998年11月 デジタル乾式複写機生産開始
 - 2010年06月 PxPtナー生産開始
 - 2013年04月 国内設計生産拠点再編統合
リコーインダストリーとして再出発
 - 2020年07月 R B A 認証
 - 2022年04月 ビジネスユニット化

本体事業

…カラー機

デジタルフルカラー複写機

RICOH IM C8000/C6500



カラープロダクションプリンター

RICOH Pro C5310S/C5300S



モノクロプロダクションプリンター

RICOH Pro8320S/8310S/8300S



カラープロダクションプリンター

RICOH Pro C7210S/C7200S

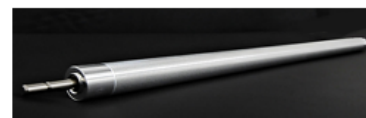


サプライ事業

カラー複合機用トナー



現像ローラ



キーパーツ事業 (Key Parts)

加圧ローラ



ポリゴンスキャナモータ



定着NI基材



定着ベルト/中間転写ベルト

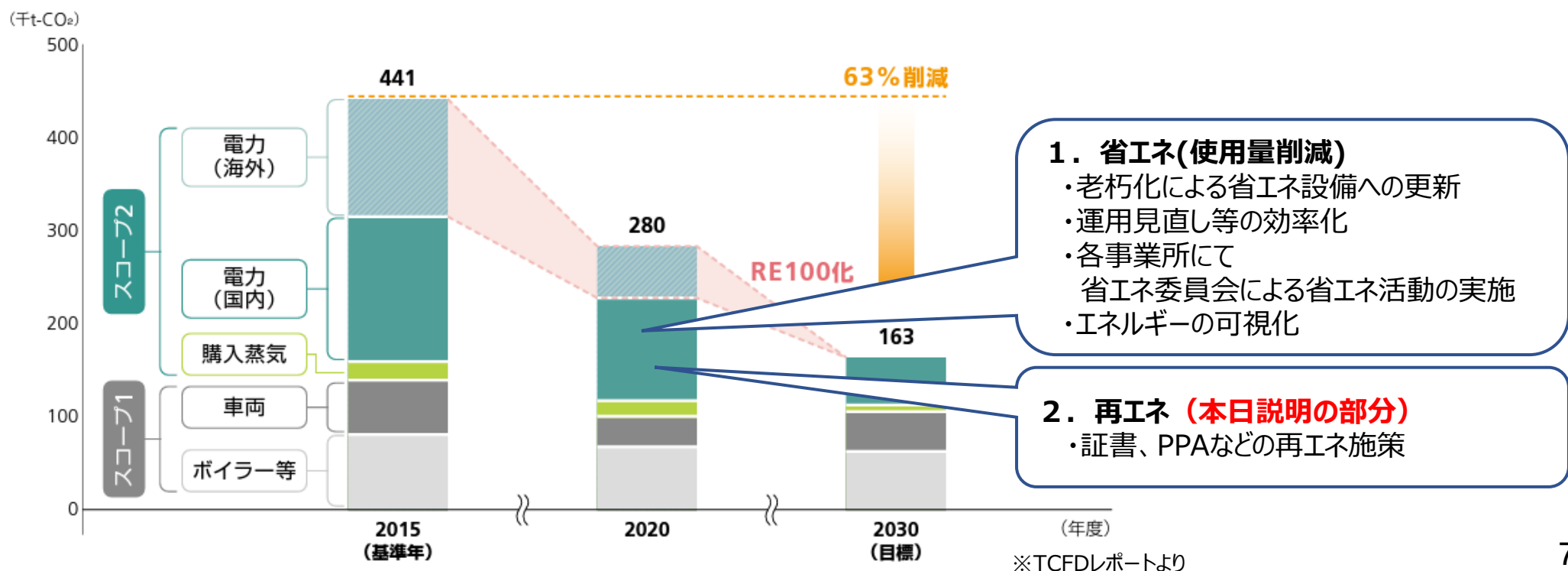


ソーラーカーポート導入 について

リコーはRE100に加盟し、2050年までにCO2排出量をゼロにすることを宣言しています。RE100達成にむけ、脱炭素目標を設定し、目標実現にむけて「省エネ」と「再エネ」の両方を軸に活動しています。東北事業所において、省エネ活動は従来から実施しておりますが、新たな活動として再エネ導入できないか、検討を開始しました。

リコーグループ 2030年目標達成にむけた脱炭素ロードマップ

2030年 スコープ1, 2: 63%削減に向けた施策・計画



オンサイトPPA方式で、リコーインダストリー側の設備投資/メンテナンス費用「ゼロ」

運用開始：2022年2月10日～

- * CO2削減量：約90t/年
- * パネル枚数：375枚
- * パネル容量：146kw
- * PPA契約：20年間

～スキーム～

- ①使用者：リコーインダストリー(株) 東北事業所
- ②PPA事業者：シン・エナジー(株)
- ③発電設備の所有者：JA三井リース(株)



■個人PCで発電実績がリアルタイムで確認可能



(株)リコー ESG本部
環境省の補助金の案内

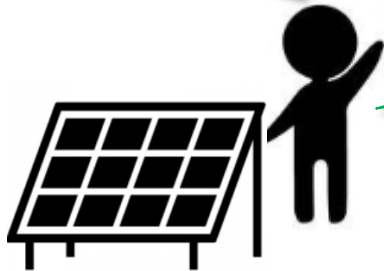


リコーグループ
エネルギー担当

～リコーインダストリー 東北事業所～

国の補助金を使えば今の電気料金以下で導入できるかもしれない・・・
お金の面以外で、リスクは何なんだろう

リコーグループの再エネ目標もあるし、
駐車場を有効活用できないか



■ 以下の視点で、条件が合う駐車場を検討

- ・建屋老朽化対応の影響を受けない
- ・長期間にわたり発電が可能な場所

■ PPAを提案して頂ける会社のアポをとり、面談開始



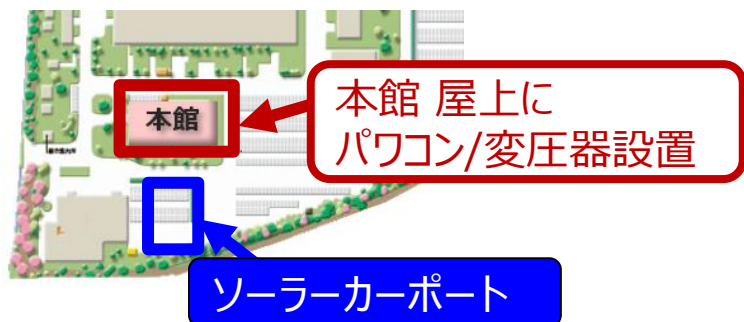
駐車場 (50台分)

～条件～

1. 現在の電力料金よりも下がるor同一である事
2. PPAの仕組みに基づき、設備管理及びそれに関する費用をPPA事業者様で実施/負担頂く

～課題～

1. 当時、リコーグループのPPA導入のガイドラインが無かった為、手探りで進めていった
 - * 太陽光パネルは人権対応されたメーカーの物を採用 等
2. 上記も含め、補助金可決後に予定外の仕様が加わり、PPA事業者様と仕様の見直し/調整
 - * 採用メーカーの限定
 - * 設置場所が想定よりも軟弱の地盤と分かった
 - * 雨どい設置の可否
 - * 土の廃棄について
3. 水害ハザード地域に該当していた（4、5m冠水のリスク）
 - * パワコン/変圧器を本館 4Fの屋上に設置



概算で金額と仕様を決め、補助金申請をさせて頂きましたが、いざ、走り出すと様々な課題/予算の問題等が発生しました。PPA事業者様と協力し、弊社の条件を遵守し完成させる事が出来ました

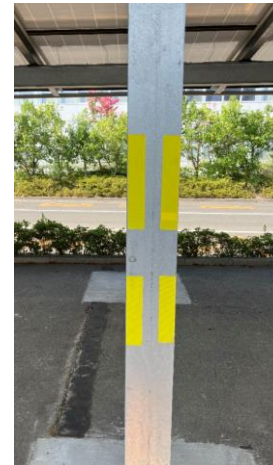
1. 地盤が傾斜していた為、左右で高さが異なる

* 一部エリアについて、ハイルーフ車両の駐車を禁止とする掲示物を設置



2. 天候が悪い&夜間時に、前の支柱が見えにくく、車庫入れ時に激突のリスクがある

* 前の支柱に黄色の蛍光テープを貼りつけ



11月末：着工

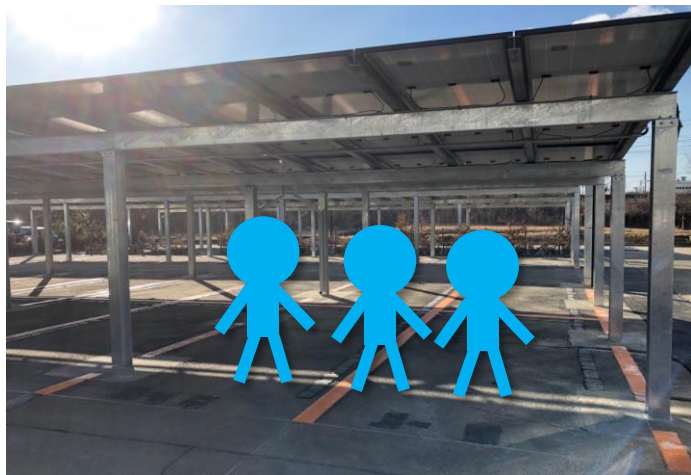


1. 社有車及びお客様の車について

夏季：遮熱（車内温度の上昇抑制）

冬季：雪下ろし

2. 悪天候時の地震発生時の一時避難場所として利用



3. 一般の方へのPR（JR東日本 東北本線の車窓からリコー敷地内に設置されている太陽光パネルが見える）



現在、私は国内リコーグループ全体の再エネ（PPA）導入の事務局を担当しておりますが、今回のソーラーカーポート導入の経験を生かして、国内リコーグループ全体におけるPPA導入ガイドラインを作成する事ができました。

ゼロから最後まで泥臭い事まで経験させて頂いた事で、今後の導入に向け自信にも繋がっています。

補助金が採択されなければ、実現しなかった事例となりますので。今回、大変貴重な経験をさせて頂いた事に感謝しています。

引き続き、脱炭素活動への推進を強化していきます。

ご清聴ありがとうございました。

RICOH
imagine. change.